

TOTO

大便器自動フラッシュバルブ用定流量弁付き連結管

THD89P型・THD90P型
THD96P型・THD97P型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

この商品は、当社大便器自動フラッシュバルブ用定流量弁付き連結管です。
施工時に心間寸法を変更する場合または補修の際にご使用ください。

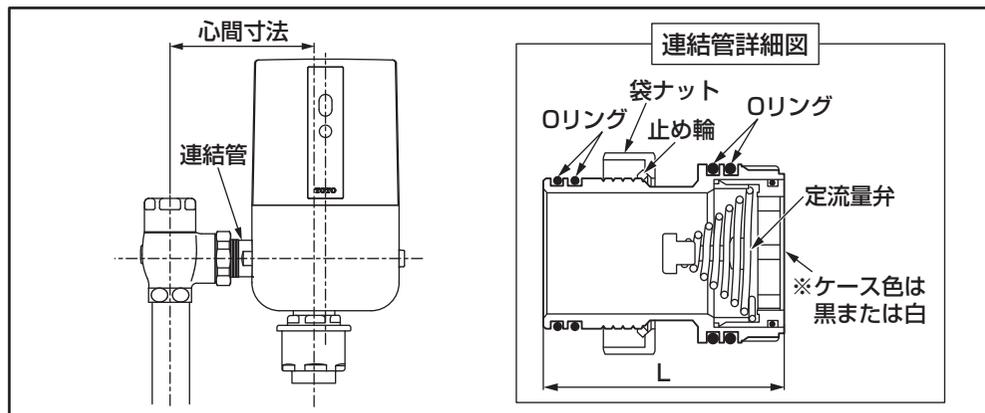
◆THD89P型・THD90P型

事前確認

取り替え前に下記<寸法一覧表>にて、連結管と自動フラッシュバルブの品番の組み合わせが適正であることを必ずご確認ください。組み合わせが適正でない場合、便器から水が溢れたり洗浄不良となるおそれがありますのでご注意ください。

<寸法一覧表>

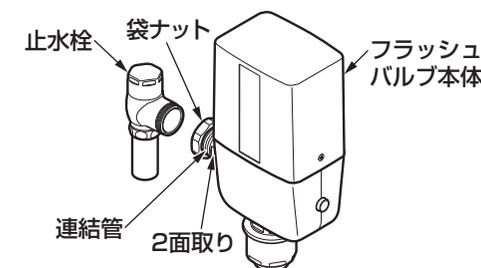
定流量弁付き連結管の品番		心間寸法 (mm)	連結管全長 L(mm)
TEVN30・40型用 ※ケース色：黒	TEVN10・20型用 ※ケース色：白		
THD89P120	THD90P120	120 (0~+10)	61.5
THD89P140	THD90P140	140±10	81.5
THD89P160	THD90P160	160±10	101.5
THD89P180	THD90P180	180±10	121.5
THD89P200	THD90P200	200±10	141.5



作業要領

始めに止水栓または元栓を確実に閉めてから作業を行ってください。

1. 袋ナットをゆるめ、フラッシュバルブ本体を取り外してください。
2. 連結管の2面取りに工具をかけ、既存の連結管を取り外してください。
3. 新しい連結管にOリング・止め輪が所定の位置に確実に装着されているかご確認の上、フラッシュバルブ本体に連結管をねじ込んでください。



※止め輪の位置および心間調整方法は、フラッシュバルブ本体に同梱の施工説明書を参照ください。

連結管を取り付ける前に、定流量弁のケース色が交換前のものと同じ色であることを必ずご確認ください。色が異なる場合は、連結管の品番選定が適正でない可能性があります。左記の<寸法一覧表>をご確認の上、適正な品番を選定してください。

4. フラッシュバルブ本体を止水栓に取り付け、工具で袋ナットを確実に締めてください。
5. 取り付け完了後、通水し、接続部からの水漏れおよびゆるみがないことを確認してください。

注意

- 止め輪は無理に外さないでください。無理に外すと、変形・破損し水漏れの原因となります。
- ねじ部には、接着剤やシール材を塗布しないでください。接着剤やシール材がOリングに付着しますと、水漏れの原因となります。
- 連結管から定流量弁を取り出したり、分解は絶対にしないでください。万が一分解し、不具合が生じた場合は保証対象外となります。

裏面へつづく

◆THD96P型・THD97P型

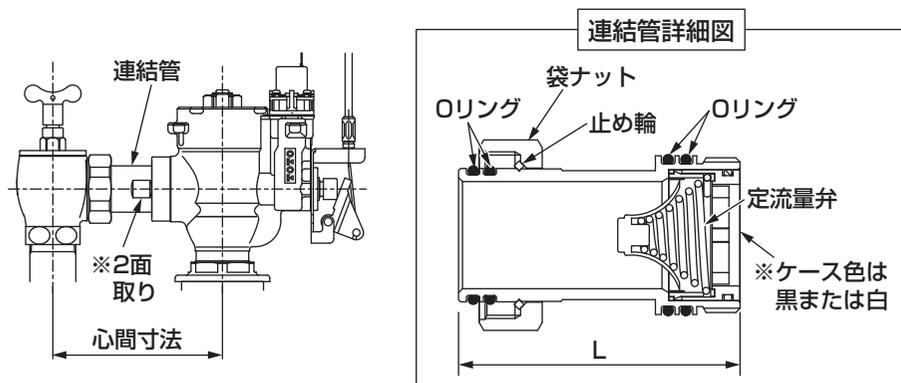
事前確認

取り替え前に下記<寸法一覧表>にて、連結管と自動フラッシュバルブの品番の組み合わせが適正であることを必ずご確認ください。組み合わせが適正でない場合、便器から水が溢れたり洗浄不良となるおそれがありますのでご注意ください。

<寸法一覧表>

TEVN35U・36U型用 TEVN45U・46U型用 ※ケース色：黒	TEVN15U・16U型用 TEVN25U・26U型用 ※ケース色：白	心間寸法 (mm)	連結管全長 L(mm)
THD96P120	THD97P120	120	71.5
TEVN36-1型用 TEVN46-1型用 ※ケース色：黒	TEVN16-1型用 TEVN26-1型用 ※ケース色：白	心間寸法 (mm)	連結管全長 L(mm)
THD96P100	THD97P100	100	51.5

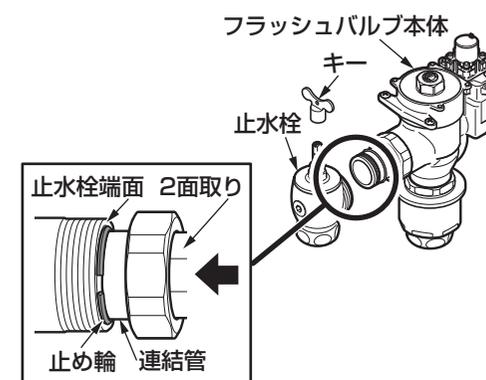
◆以下はTEVN35U型



作業要領

始めに止水栓または元栓を確実に閉めてから作業を行ってください。

1. 袋ナットをゆるめ、フラッシュバルブ本体を取り外してください。
2. 連結管の2面取りに工具をかけ、既存の連結管を取り外してください。
3. 新しい連結管にOリング・止め輪が所定の位置に確実に装着されているかご確認の上、フラッシュバルブ本体に連結管をねじ込んでください。



連結管を取り付ける前に、定流量弁のケース色が交換前のものと同じ色であることを必ずご確認ください。色が異なる場合は、連結管の品番選定が適正でない可能性があります。左記の<寸法一覧表>をご確認の上、適正な品番を選定してください。

4. フラッシュバルブ本体を止水栓に取り付け、工具で袋ナットを確実に締めてください。
5. 取り付け完了後、通水し、接続部からの水漏れおよびゆるみがないことを確認してください。

注意

- 止め輪は無理に外さないでください。無理に外すと、変形・破損し水漏れの原因となります。
- ねじ部には、接着剤やシール材を塗布しないでください。接着剤やシール材がOリングに付着しますと、水漏れの原因となります。
- 連結管から定流量弁を取り出したり、分解は絶対にしないでください。万が一分解し、不具合が生じた場合は保証対象外となります。